

## 県外派遣報告書

審判員名	一箭 良枝	所属	クラブ連盟
大会名	第23回関東クラブバスケットボール選抜大会兼 関東クラブバスケットボール連盟審判講習会		
期間	平成29年9月9、10日		
会場	高崎アリーナ、浜川体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
9月9日(土)	机上講習、実技講習	高崎アリーナ	
9月10日(日)	実技講習	高崎アリーナ	
机上講習内容			
講習会講師10名よりJBAのガイドラインやメカニクス、講習生に伝えたいこと等についてお話しいただいた。			
①ガイドラインについて			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手の使い方:DF、OF公平に判定する。</li> <li>・スクリーンは動いてはいけない。</li> <li>・大きな接触は取り上げる。ブロックorチャージはOFに触れ合いの責任がなければブロッキングである。</li> <li>・プロテクトシューター:シューターの着地まで見極める。</li> </ul>			
②メカニクスについて			
リードは早くセットアップポジションに入り、プレイを捉えるよう意識する。新マニュアルで右に行く機会が減るということはない。必要に応じてもっとプレイを捉えに行ってほしい。ノーワーキングエリアにとどまり続けてはいけないが、そこで判定してはいけないわけではない。			
③プレゼンテーションについて			
笛の音にこだわってほしい。特にファーストホイッスルで印象が決まるので、意識して強く吹くこと。声を出して何を取り上げたのか、誰のファウルなのかを伝える。ワーニングにあたる現象が起きれば、堂々とワーニングすること。			
④審判員としての心構えについて			
ゲームが始まるまでの準備が重要である。できる準備をしたうえで失敗を恐れずトライして欲しい。苦しい状況から逃げず、どうしたら良いか追及してほしい。			
実技			
担当試合	期 日	9月9日(土)	女子
	対戦カード	甲府RESISTANCE VS 群馬町クラブ	副審
	相手審判	菊池 瑞昭 氏 (茨城県)	
ミーティング内容		講師	久保 あしみ 氏
全体としてプレイから遠い印象であるため、プレイに近づいて判定していく必要がある。トレイルでは、上から見ていることが多かったが、次のポストプレイも捉えることを考えると、3Pラインまで下がる必要がある。リードでは、同じ位置で見ていることが多い。クローズダウンの動きが無い場合、スイッチサイドのタイミングが遅れている。選手に対して「判定している」ことを伝えるためにも、プレイを捉えに行く工夫が必要である。どちらの審判がよりプレイを確認できたか、判定の責任があったかを考えてほしい。シリンダーを侵したのはどちらか、仕掛けたのはどちらかというプレイの過程を理解して判定しなければならない。			
全体の感想			
<p>今回の講習会では、マニュアル、ガイドライン、プレゼンテーションについて重点的にご指導いただいた。これらを含め、日頃からバスケットボールの理解を深めておくこと、事前により多くの準備をしておくことの重要性を痛感した。2日目の割り当てを勝ち取るという結果を出すことはできなかったが、位置取りや動きについて、課題としていた部分をご指導いただくことができたので、今後克服できるよう取り組んでいきたい。講習会の総評として、「今の位置で見えていると思わないでほしい。もっと見える位置を追求してほしい。」というお話があった。プレイを捉えるために動く意識を高く持ち、より見える位置を探していきたい。</p> <p>本講習会の参加にあたって、ご指導いただきました講師の皆様、開催地群馬県協会の皆様、派遣をしてくださいました埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>			